



### 秦野版共同養育システムで子育てが楽しいまちを目指せ

公明党 横山むらさき

#### 一 外出が楽しいまちについて

コロナ禍での外出自粛によるフレイルの進行が懸念される。①誰もが主体的に健康づくりに取り組めるよう、健康ポイントラリー事業の拡充の考えは、②公共交通不便地域の高齢者の外出をサポートするための取り組みは、どうか。

#### 二 子育て支援について

①75歳以上でも参加できるよう全市民を対象とし、電子地域通貨の活用などのデジタル化についても関係部署と検討する。②外出支援を担うボランティアとして活躍してもらえよう地域支援えい型認定ドライバーの養成研修を行うことで、移動支援団体による外出機会の創出につながっている。

①働く保護者や保育士の負担軽減となる保育所の紙おむつ回収処理の検討状況は、②ワンオペ育児となつている親子の孤立化を防ぐため、一時預かり事業で※レス



花が楽しめる観光地づくりを(写真は、県立秦野戸川公園)

#### 創和会 諸星 光

#### 花を活用した観光振興について

本市は都心近郊でありながら豊かな自然を体感できるため、登山やハイキングに多くの人が訪れる。森林観光都市を目指すためには、花などの植物を活用し、付加

価値をつけるべきと思うがどうか。答 これまでも花のある観光地づくりを進めてきたが、既存の手法にとらわれず、花の魅力を最大限に活用できるよう取り組んでいく。要望 多くのハイカーが二度、三度と訪れるよう年間を通じて多様な種類の花などの植物が楽しめる観光地づくりに取り組んでほしい。

出生数や年少人口が減少している中、地域によっては保育所の定員割れや低年齢児の保育士確保を心配する声も聞かせるが、今後の対応はどうか。答 国による保育所などの多機能化への取り組みなども注視しながら、



子育てしやすい環境づくりを



### 東海大学望星丸洋上体験研修など愛と勇気で生きる力を

創和会 阿蘇 佳一

#### 一 子どもの命と未来について

①全国で令和3年度に自殺した児童・生徒数は368人。子どもを守る対策は、②幼い頃から多くの体験をすることが大事と考えるが、望星丸を活用した中学生洋上体験事業は、③東海大学児童教育学部との連携は、どうか。

#### 二 広域強盗と特殊詐欺について

①相談室の開設など安心できる学校づくりに取り組む。②生きる力を育むため、体験学習は持続可能な形となるよう努める。③旧大根幼稚園の園舎を活用する「はだのE-Lab(イーラボ)」の開

設を契機に連携を強化していく。② 特殊詐欺などの犯罪件数は令和4年に566件、被害総額は4674万円であり、日本は犯罪が少なくという安全神話が崩れると心配するが対策はどうか。答 警察と連携して注意喚起を行い、金融機関との防犯対策についても調査・研究をしていく。

南海トラフ地震は全国で死者32万人、被害総額220兆円と推計され、富士山の噴火の誘発も指

ふるさと納税の市場規模が1兆円を超す日もそう遠くないと言われる中、秦野ならではの価値や資源を活用することで、戦略的に魅力や関係人口の創出に向けて取り組むべきと考えるがどうか。答 秦野の魅力に触れられる新たな体験型返礼品の発掘に努め、関係人口の創出につなげていきたい。

谷和雄議員は令和5年4月9日執行の神奈川県議会議員選挙に立候補したため、公職選挙法第90条により、令和5年3月31日付で市議会議員を辞職しました。

### 議員研修会を実施 ～ハラスメントについて学ぶ～

平成28年度に始めてから5回目となる今回は、株式会社人財開発研究所の北澤清孝氏を講師に招き、ハラスメントに関する基礎知識を再確認するとともに、ハラスメントの判断基準を理解し、未然に防ぐ問題意識を高めるための研修を受けました。

北澤氏は、ハラスメント防止に向けて注意すべきことは、お互いを尊重し合うことであり、普段から議員同士、職員とも活発にコミュニケーションをとり、自分の考えと違う場合も受け止めていく姿勢が必要であること、周りも見過ごすことなく、組織全体の



の問題として改善していくことが必要であると説明されました。また、議会内の常識と一般常識のずれを常に確認し、自分が当たり前だと思っている考え方を相手に無意識に要求していないかを振り返る必要があると指摘されました。

#### 用語解説

※レスパイト…一時休止・休息を意味する言葉のこと

※被爆アオギリ二世…昭和20(1945)年8月6日、広島に原子爆弾が投下された際に、被爆で損傷しながらも青葉を茂らせた被爆アオギリから採取した菌を発芽させて育てた二世の苗木のこと

### 政治倫理規程に抵触する疑いがある事件の審査結果について

#### 1 職員に過重な負担を感じさせている議員の特定について

【令和4年12月23日付請求内容】職員との事務調整に関し、身体的・精神的に過重な負担を感じさせている議員の特定と事実関係の調査を求める。

【政治倫理審査会からの結果報告】職員の受け方と対象議員の認識に相違があり事実確認が困難であった。ただし、職員が過重な負担を感じている行為として捉えられていることに留意し、対象議員には今後、適切に対応するよう注意が必要である。

【議長の対応】規程に基づく措置は行わないが、対象議員に対し文書で注意した。また、このような疑念が持たれたことは、議会全体の問題として捉え、全議員に対し文書により高い倫理観を持って議員としての品位を保つよう指示をした。

#### 2 議員と移動図書館「新たんざわ号」の関係について

【令和5年2月1日付請求内容】議員が日常的に車両を利用しているなど公私混同の疑念があること、また、車両には特定の事業所名が掲載されていることから調査を求める。

【政治倫理審査会からの結果報告】ボランティアを行う一個人としての活動であり、規程に抵触しているとは認められず、審査会で審査・調査することは適当ではない。

【議長の対応】規程に基づく措置は行わない。

※ここに記載した内容は、一部を抜粋したものです。

詳しくはこちら▶

